

東京知道会平成 26 年第 6 回幹事会議事録

1. 日時 平成 27 年 1 月 29 日 (木) 18:30 - 20:00

2. 場所 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 602 会議室

3. 議題

- (1) 平成 27 年度総会「同窓の集い」担当学年(昭和 61 年卒)からの最終報告と確認
- (2) 平成 27 年総会の役割と流れについて
- (3) 平成 26 年度決算報告並びに承認
- (4) 同窓の集いの二次会について
- (5) 各委員会(企画、組織、財務、会報)からの報告
- (6) 平成 27 年度東京知道会組織について
- (7) 当会の財務状況ならびに同窓の集いの変遷について
- (8) その他

4. 参加者 20 名

5. 議事内容

- (1) 平成 27 年度総会「同窓の集い」担当学年(昭和 61 年卒)からの報告と確認
 - ① 1 月 29 日時点での集い参加者は確定で 200 名、幹事学年は 82 名、S62 年卒は 23 名となっており、今後申し込みを考慮し 281 名(昨年+39 名)を想定している。
 - ② 280 名として試算すると収入 2,553,200 円、支出 2,370,000 円、183,200 円の黒字となる。
 - ③ 恩師は現在確定している人数は綿引先生、郡司先生、石原先生の 3 名、来賓は 6 名が確定で 2 名確認中である。
 - ④ 地酒コーナーは 14 万円程度の予算を確保している。
 - ⑥ しおりは 330 部印刷予定。広告収入は申し込み件数が 48 件あり 693,200 円となった。

(2) 総会の役割と流れについて

資料に基づきそれぞれの役割分担を確認した。

懇親会の乾杯は 49 年卒が担当学年であるが、現時点で参加者がいないため 49 年卒者がゼロの場合は江幡事務局長が代行することになった。11:30 より新役員の記念撮影を行う。なお、次回の集い開催日は平成 28 年 2 月 20 日(土)とする(3 月 1 日は母校の卒業式)。

(3) 平成 26 年度決算報告ならびに承認

谷田海幹事長より平成 26 年度決算報告と羽持監事よりの監査報告がなされ、承認された。また、次期総会の会計監査は総会の会計がまとも次第、早めを実施することを確

認した。

(4) 同窓の集いの二次会について

今年の二次会の幹事は S60 年卒が担当し、18:00 より「串特急 八重洲仲通り店」でおこなう。会費は一律 3,000 円(2 時間飲み放題)とするが、徴収は二次会会場でおこなう。

(5) 各委員会からの報告

①企画委員会

花見の会を 4 月 4 日(土) 午前 10 時から墨田区隅田公園(水戸藩下屋敷跡)で行う。会費は 1,000 円を予定。女子グルメの会は 6 月 7 日(場所未定)、夏休みの企画は 8 月 1 日(土)で日程を確定し、茨城県南地域で茨城県自然博物館とヤクルト茨城工場の見学を検討中であり茨城県人会連合会からの補助を仰ぐことも検討する。歩く会は 10 月 25 日(日)に都内で実施する予定である。

②組織委員会

組織委員会主催の 12 月 13 日に開催された忘年会の報告があった。参加者は 77 名となり、平成卒が 15 名、また女性の参加が 31 名と過去最高となり、平成卒、女性の増加傾向がはっきりしてきた。

名簿搭載人数は 1 月 25 日現在 4782 名、うち有効人数は 3295 名、会報メール送付会員は 289 名である。フェイスブックの水高卒業生のグループページメンバー数は 783 名となっている。

組織委員会の副委員長として S58 年卒鈴木正啓氏が加わった。

③財務委員会

会費と寄付金を合わせた合計額は 278.5 万円となり前年を 2.3 万円上回った。前受け金、寄付金が減少する中、会費入金が大幅に増え(前年比+21 万円)前年を上回る収入となった。会費納入者が前年を 70 名上回る 739 名となったのは今後に希望を持たせる。特に S61~63 年卒が 30 人(前年比+15 名)、平成卒が 37 名(前年比+16 名)と若い世代が増加している。

平成 27 年度の財務委員会の体制は以下のとおりとなる。

委員長	佐々木	博之	(S59 年卒)
副委員長	石井	康司	(S58 年卒)
委員	近衛	伸賢	(S60 年卒) 新メンバー
委員	横山	博則	(S61 年卒) 新メンバー
アドバイザー	小澤	光浩	(S57 年卒)

④会報委員会

第 78 号を 1 月 11 日の週に発送した。メールは 16 日に発信。

第 79 号は 7 月に発行予定で、内容としては①同窓の集い特集、②財務報告、③新役員紹介、④海外で活躍する同窓生を計画している。

(6) 平成 27 年度東京知道会組織について

平成 27 年度東京知道会組織図が谷田海幹事長より提示され、出席者により確認された。

(7) 当会の財務状況ならびに同窓の集いの変遷について

当会の財務状況ならびに同窓の集いの変遷について、資料に基づき谷田海幹事長から報告があった。

財務状況については、かつて事務所の維持費が会の運営の大きな負担になっていたが、24 年に事務所を手放した結果、25, 26 年と黒字基調となっている。しかしながら収支は会費の納入状況に左右されるので、会運営の永続化が補償されたとは言いがたい。

幹事会・委員会のメンバーには S54 年から 60 年までの卒業生が連続して加わっており、若手へのバトンタッチが順調に進んでいる。また、女性会員も順調に増加しており、同窓の集いへも 20 数名の参加が長年続いていたが、3 年前より 50 名～60 名と大幅に増加した。

(8) その他

・懇親ゴルフコンペ(平日会) 4 月 16 日(木) 幹事:畑岡 (S53 年卒)

・懇親ゴルフコンペ(週末会) 4 月 29 日(祝) 幹事:梁田 (S54 年卒)

次回の幹事会は 4 月 21 日(火)に開催する。

以上